

第2期山脇市政がスタート



任期満了に伴う豊川市長選挙（10月2日執行）で、山脇実氏（67）が当選しました。これにより、10月20日から第2期山脇市政がスタートしました。

●市長就任にあたって



信頼と絆により、市域の
一体性のさらなる醸成を

豊川市長 山脇 実

このたび私は、豊川市政を引き続き担当させていただくことになりました。あらためて市長の責務の重大さを痛感し、身が引き締まる思いがするとともに、今後に向けて気持ちを新たにしております。

私は、この一期四年間、「市民ひとりひとりの声を聴き、こころのたすきをつなぐまち」の実現に向けて、一つ一つ真剣に取り組んでまいりました。中でも、念願でありました宝飯郡四町との合併を完了し、また、最大の課題でありました新市民病院の建設については、今年五月に起工式を行い、平成二十五年五月の開院に向け着実に進めてまいります。この間、市民の皆様のご理解とご協力をいただきましたことに対しまして、厚くお礼申し上げます。

二期目にあたりましては、これまでの行政経験を生かし、市民の皆様との信頼と絆により、市域の一体性をさらに醸成するため、五つのまちづくりを基に四十八のマニフェストを掲げました。特に東日本大震災を踏まえ防災対策、教育環境の整備、文化振興などに力を注いでまいります。

これからの時代環境の変化や多様化する行政課題に迅速に対応してまいりますので、市民の皆様の一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

特集

町内

みんなでつくる 地域の つながり

会



わたしたちの身の回りには災害、犯罪、交通安全、ごみ処理など、生活に密接した問題が数多くあります。こうした問題を地域で話し合い、解決し、安全で安心な暮らしを送るために町内会は活動しています。

今回の特集では、身近な地域の課題解決やコミュニティづくりを担っている町内会について紹介します。

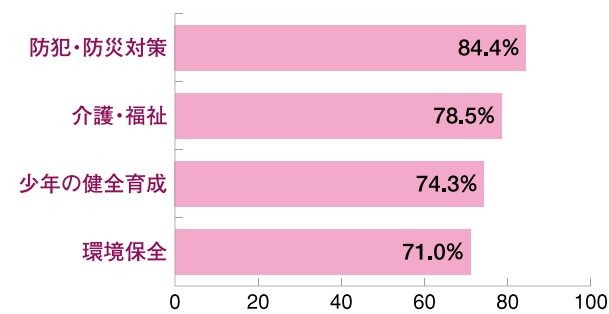
詳しいことは、生活活性課（89－2165）へ、お問い合わせください。

今、求められる
地域のつながり

近年、核家族化や少子・高齢化が進展する中で、人々の価値観やライフスタイルも多様化しています。そして、地域に住む人々のつながりも昔に比べて希薄になってきたといわれています。このような状況の中、お年寄りの孤独化、子育てや教育への不安を抱える家庭の増加など、わたしたちの周りではさまざまな問題が発生しています。

日常生活においても、犯罪、ごみ処理、災害などの問題が起こっ

■ 地域において必要だと感じる取り組み



内閣府：「国民生活選好度調査」（2003年）

ています。わたしたち一人一人の力ではこうした問題を解決することはなかなかできませんが、地域の住民が集まることで大きな力となり、解決の糸口が生まれます。このような取り組みが行っている身近な団体が町内会です。

また、東日本大震災では、町内会の活動が活発だった地域ほど安否確認や救出活動がスムーズに進んだという結果が出ています。日ごろの生活だけでなく、いざというときに助け合える地域のつながりが、今あらためて必要とされています。

町内会は大きな役割を
果たしています

現在、市内には百八十六の町内会があります。そして、地域ぐるみでの子育ての支援や高齢者が安心して暮らせるような見守りや支え合いなど、行政のサービスだけでは行き届かない、地域に密着したきめ細かい取り組みを行っています。

安全で住みやすいまちをつくるためには、わたしたち一人一人が助け合うことがたいせつです。町内会ではさまざまな活動を通してわたしたちが助け合えるきっかけをつくる役割を果たしています。



一人暮らしだから、もし大きな地震とかあったらどうしよう。

こんな不安や悩みを抱えていませんか？

子どもが事故や事件に遭わないか心配。近所の人たちは気に掛けてくれるかな？

子どもたちは近くに暮らしていないし、これからの生活が心配だな。



身近な助け合いが町内会の活動内容です

例えば、「子どもの通学路の防犯灯が切れていて危ない」「近所のごみステーションが散らかっていて汚い」といった問題も、町内会の活動によって解決されています。そして、誰でも参加しやすく、困ったときの助け合いができるのが、町内会の活動です。主な活動内容は次の通りです。

- 自主防災・互助活動
防災訓練などの災害防止活動や実際に被災した時の助け合い
- 環境美化
ごみステーションの設置や清掃など、地域の美化活動の推進
- 子ども会・老人クラブ活動
子どもたちの健全な育成や高齢者の生きがい活動の振興など
- 福祉の向上
一人暮らしの高齢者の見守りなど、地域の福祉向上
- 防犯活動
通学路での子どもの見守りや夜間パトロール、防犯灯の設置・管理
- 地域のイベントの開催
会員同士の交流と親睦を目的に、運動会や盆踊りなどの各種イベントの運営など



▲地域のイベントの開催

子どもからお年寄りまで幅広い年代の人たちが協力し合ってお祭りの準備をしています。

▼環境美化

ごみ拾いを定期的に行い、町内を美しく保っています。



▲自主防災・互助活動

防災訓練では、多くの住民が参加して火災や震災に備えています。

自ら活動するパワーが暮らしを支えています

町内会では、住民が力や知恵を出し合って自分たちの暮らしを支えています。今回は町内会や町内会が集まって組織される連区を訪ね、日頃のさまざまな活動についてお話を伺いました。

いざというとき 助け合うために



中条一区町内会

山岡幸夫さん

東日本大震災以降、町内でも防災に対する意識が高まっています。わたしたちの町内会では、防災ニュースを発行して訓練の様子を伝えたり、防災マップを配布するなどして、防災の啓発を行っています。また、普段の防災訓練や防災倉庫の点検に加えて、レッカー車や重機などの資格を持った人の名簿を作るなど、新しい取り組みも始めています。

もし災害が起こったら、助けを待つのではなく、自分たちが動かないといけません。いざという時に助け合えるまちづくりを目指して、防災活動を強化していきたいと思っています。



子どもが楽しめる イベントを



市田町内会

井上豊重さん

市田町内会では、毎月お祭りやイベントがあります。中でも9月に開催された火祭りには、たくさんの人が参加してくれました。今年は、町内の保育園や小学校からも子どもが参加したいとのことで、通常の大きなたいまつのほか、町内の皆さんの協力をいただき、多くのトーチを工夫しました。その結果、たくさんのお子とその家族もとても喜んでくれました。

こうして地元のお子もたちや、多くの方が触れ合う機会を持つことで町内がさらに元気になっていきます。

これからも子どもが楽しめるイベントをたくさん開催していきたいです。



安全なまちづくりを 目指して



三蔵子連区

鈴木鐵也さん

三蔵子連区では、8つの町内会が集まり、地域のボランティア団体と協力し合い、安全なまちづくりに取り組んでいます。

子どもが多い三蔵子小学校を中心に夜間パトロールや通学路の見守りを行うほか、事故や犯罪の起こった箇所を示す「防犯・犯罪マップ」を利用して皆さんが安全に生活できるように気を配っています。

最近では、この地域も市街地化が進み、引っ越してくる人が増えました。その中で、お互いの顔を見て声を掛け合う活動が地域の防犯にもつながると思います。これからもみんなで安全な地域を守っていきます。



町内会に
参加しています！



佐野普美さん
(蔵子二区町内会)

今年の春に子どもが小学生になり、町内会に加入して運動会、映画鑑賞会などの行事に参加しました。町内会の役員さんたちが子どもたちを見てくれているので、保護者としてとても安心できます。一人っ子なので、同じ町内の上級生の子たちが面倒を見てくれて、お兄ちゃんやお姉ちゃんができたいでうれいすね。次はクリスマス会の案内が来ているので、子どもと一緒に楽しみにしています。

今は参加させてもらっている立場ですが、役割ができたときには、今まで面倒を見てくれた方のためにもがんばりたいです。

INTERVIEW

地域のつながりを
たいせつにしましょう

町内会は地域の中で福祉や防災など、さまざまな活動をしています。しかし、時代の変化に伴い町内会もさまざまな課題を抱えています。

現在は市内の約八十割の人が町内会に加入していますが、これは決して高い数字ではありません。昔に比べて地域のつながりは希薄になり、町内会の活動を担う人も不足しています。

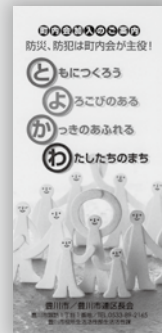
また、近年は町内会の活動が重荷になり高齢者が退会せざるを得なくなるといふケースも多くなっています。しかし、災害時など何かあったときに助けられるように、高齢者ほど町内会に入っほしいと思っています。そのために、高齢者の活動の負担を減らす対策を始めている町内会もあります。



連区長 会長

神谷好威さん

市内に30連区が組織されており、その代表をつとめています。



連区長会では、市と共同で加入のご案内のパンフレットを作成しています。

す。高齢者への配慮もわたしたち町内会の役目の一つだと考えています。さらに、核家族化や共働きの親が増えているため、子育てや教育においては町内会が中心となり、地域ぐるみで子どもを温かく見守ることがたいせつです。

町内会活動の多くは、誰かのためになりたいというボランティアの気持ちや助け合いなど、人と人のつながりの上で成り立っています。参加している人からは「今までお世話になったので、恩返しをしたい」という声も聞いています。時代の流れとともに町内会のあり方も変化していきますが、人と人のつながりのたいせつさに変わりはないと思います。

町内会の活動に
参加してみませんか

「引越してきたから」「子ども会に入りたいから」「防災訓練に参加してみたいから」など、きっかけはそれぞれですが、町内会の活動には誰でも参加することができます。あなたも町内会の活動に参加してみませんか。

災害への不安や日常生活の不満を抱えたままにするのではなく、協力し合い解決する方法を探していくことで住民の誰もが住みやすくなります。まずは、近所で開催される興味のあるイベントに気軽に参加して、近所の人たちと触れ合うことも住みやすいまちづくりへの新しい一歩となるのではないのでしょうか。

町内会への加入を希望する方は、自分の住む地域の町内会長に加入の意志を伝えてください。なお、町内会長が誰か分からない場合は、生活活性課へ、お問い合わせください。